

エイジフレンドリーシティ 行動計画ワークショップ

テーマ2 エイジフレンドリー 普及啓発情報発信

かわら版

第6回

日時:平成25年1月15日(火) 午後6時30分～午後8時
会場:アルヴェ 3階 市民交流サロン
進行:NPO法人あきたNPOコアセンター
主催:秋田市

当日の流れ

- 6:30～ 開会
これまでのふりかえり
- 6:40～ グループワーク
「事業案の具体化」
- 7:00～ 意見交換
「実行のための
組織のあり方について」
- 7:30～ 「グラウンドワークについて」
- 8:00 終了



テーマ	「生きていてよかったね。」の町
プラン	1. イベントの活用
	① 高齢者アイドルをつくらう
	①-1 エイジフレンドリーAKBの発足
イメージ	・48人の素敵な高齢者のリレー紹介 あつまるは大変だと思うので。(斉藤)
	・若者の目標としたい

事業案の再チェック!

一回目から六回目までワークショップの経過をふりかえり、あらためて目的とプロセスの再確認をした後、ワークシートを使い、これまで確定した**事業案の詳細**について話し合いました。以下は追加された項目の一部です。

①エイジフレンドリーAKBの発足

- ・若者の目標になり尊敬できる人を
- ・素敵な高齢者のリレー紹介(一度に集まるのは大変だと思うので)
- ・TV番組をもつ
- ・秋田市の広報で一人ずつ紹介する



②エイジフレンドリーにぎわい音頭

- ・秋田市共通の踊りがあるといい
- ・地域別で地域色のあるものに
- ・国民文化祭で発表を
- ・インストラクター制の導入
- ・画像をソーシャルメディアで発信

③第〇〇回 自慢大会(発表会)

- ・その人が長年続けていることから出してもらう
- ・オークション形式でもおもしろい
→何かに役立てるように
- ・コーディネーター役の存在やデータベース化等

④思いやりコンテスト 小中校生の作文募集

- ・大学生や、保育園・幼稚園生も参加
- ・長文ではなく3行文だと参加しやすい
- ・俳句、ポエム、和歌など色々な形式で
- ・発表会も、演劇風やコンサートなど目をひくものに

⑤雇用で年齢制限をしない企業の紹介

- ・企業の歴史の紹介やお客さんのコメントも入れる
- ・年齢制限をしている企業の理由
→どうなったら制限をしないようになるのか

⑥美しく歳を重ねているシニアの笑顔展

- ・絵画でも写真でもイラストでも化
- ・笑顔以外にも、いきいきとした生きる姿の写真
- ・どんな時の笑顔かストーリーをつける

実行のための組織とグラウンドワーク

事業の実行にあたり、イベント実施委員会とエイジフレンドリー認定委員会それぞれの**幹事**を2名ずつ選出しました。また、普及啓発のプレ企画として、「**大町・通町で『ども』を探そう!**」というまちあるきが提案されました。これは、お店やまちなかを歩いて、自分が「どうもありがとう」と思えることを再発見するグラウンドワーク。自分も他の人も「どうもありがとう」と思えることにエイジフレンドリーのヒントがあるのでは?というのがねらいです。

ワークショップは今回でいったん終了ですが、エイジフレンドリーシティの普及啓発活動はこれからが本番です。計画の実行には「かかわる相手をいかに理解するか」がカギ。まさに「**協働**」の基本理念ですね。

